

● 三重県多気町にある高校生レストラン「まごの店」は、「多気町五桂池ふるさと村」に農産物直売所施設「おばあちゃんの店」の食材を利用した相可（おうか）高校食物調理科の生徒が運営する調理実習施設としてオープン。この実習施設は、相可高校・ふるさと村・多気町の協働で実現、開店以来、生徒たちのきびきびとした元気な姿や、美味しいうどんなどが話題を呼び、多くの方に利用されている。

「まごの店」の影響で、ふるさと村への入場者数も増え、先輩が運営する惣菜とお弁当の店（株）相可フードネット

「せんぱいの店」や「おばあちゃんの店」の売り上げがアップするなど地域活性化にも大いに役立っている。

文部科学省による、高度な先端技術や伝統工芸を取り入れた教育を進める専門学校を支援する「目指せ、スペシャリスト」事業の指定校に、相可高校食物調理科が調理部門に選ばれた。現在の施

設は、県内の建築家を目指す高校生への設計コンペで、建築家の意見を交え平成17年2月に新装オープンした。

これらの取り組みで、総務大臣優秀賞など多くの賞を受賞し、平成23年に「高校生レストラン」と題して、テレビドラマ化され話題を呼んだ。

地域づくりに情熱を持ち、立ち上げから係わった役場職員「まちの宝創造特命監」岸川政之氏から、コミュニケーションビジネスの手法を取り入れた地域おこしや商品開発、生き方、考え方のヒントなどについての説明を受けた。



三重県多気町 おばあちゃんの店

# 小布施町視察

平成24年11月28日（水）実施

## ● 小布施町 街並み修景事業



「地域の特性を生かした街づくり」を進めるべきとの提案に基づき、住民と町が互いに責任を分担し、小布施方式ともいえる町並みの整備が進められている。

表道路沿いの住宅、金融機関などは奥の土地へ移設することで居住環境が整備され、駐車場スペースを確保し、奥路地はオープンガーデンの開放や広場などの空間づくりを行い、店舗内を誰でも通り抜けできるカフェなどがある。町ぐるみで観光地づくりに取り組み、観光客数は落ち込むことがない。

## ● 図書館 まちとしよ「テラソ」



「学びの場」「子育ての場」「交流の場」「情報発信の場」の4つの理念のもとに、「交流と創造を楽しむ、文化の拠点」となる総合施設としてオープン。公募による図書館長が採用され、設計・建設から運営方法及びイベント等まで、50人の各委員会が検討するなど、多くの住民意見が反映されている。

町内の商店などから協力を得て開設する「まちじゅう図書館」は現在10か所あり、他に開所希望が10店舗ほどあるなど、住民と観光者との交流の場として活用されている。